

西条市

土砂災害ハザードマップ

このマップについて
ABOUT THIS MAP

この土砂災害ハザードマップは、西条市の南側に位置する豊かな山々で大雨が降ることにより土砂災害が発生するリスクや、同様の雨が降った場合の加茂川や中山川などの河川氾濫の範囲を示した地図です。
このマップで示した土砂灾害警戒区域以外でも災害は発生する可能性があります。土砂災害や気象情報に関する正しい情報の理解と、早めの避難行動を心がけてください。

保存版
timeless edition

ハザードマップを見て、土砂災害の危険がある場合は、警戒エリアの外へ避難。もしくは崖と反対側の2階以上で安全確保！



■ 土砂災害のことを知ろう

土砂災害への心構え

過去に起きた土砂災害

平成26年8月に発生した広島市の土砂災害では、複数の谷で同時に多発的に土石流やがけ崩れが発生し、甚大な被害をもたらしました。国は同年11月にこれまでの「土砂災害防止法」を改正し、国民の生命および身体を守るために、土砂災害のおそれのある区域について明らかにした上で、警戒避難体制の整備などの対策を推進しています。愛媛県でも、平成16年には過去最多6つの台風が接近し、県内各地で土砂災害などによる甚大な被害が発生しました。河川に沿って急峻な山々に囲まれた地域では、風水害による土砂災害のおそれや、大雨時の河川氾濫による浸水被害も予想されます。日ごろから、災害についての理解を深め災害時に必要なものや情報を備えておくことが防災・減災につながります。



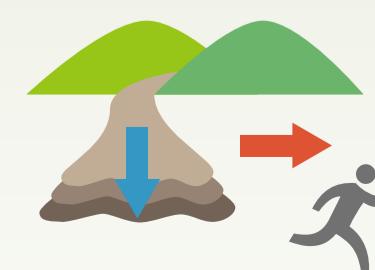
雨に注意していますか？

土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になつたら十分な注意が必要です。

20ミリ

逃げ方を知っていますか？

土砂災害はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのは追いつかれています。土砂の流れる方向とは、直角に横に逃げましょう。



「避難情報」が発令されたら

・逃げ情報の発令は、避難行動を開始するタイミングです。
・気象情報などにも注意し、いつでも行動できるように準備しておきましょう。
・危険を感じたら自動的に避難することも重要です。
・逃げ先をそこまでの移動時間を調べておきましょう。
・発令直後は、避難所が開設されていない場合があります。



土砂災害の種類と特徴

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

●がけから出るわき水がにごる
●斜面に割れ目、変形がある
●がけから小石が落ちてくる
●地下水やわき水が止まる

土石流

●川の流れがにごり、
●斜面から水がふき出す
●雨が降り続いているのに、
●川の水位が下がる

地すべり

●地面にひび割れができる
●斜面から水がふき出す
●沢や井戸の水がにごる
●家やよう壁に亀裂が入る

特別警戒区域(レッドゾーン)

警戒区域(イエローゾーン)

警戒区域(イエローゾーン)

警戒区域(イエローゾーン)

警戒区域(イエローゾーン)

警戒区域(イエローゾーン)

警戒区域(イエローゾーン)